



陽風園だより

No. 102

令和3年
7月発行
春秋冬

夏



■ もくじ

- P2 各施設近況報告
- P5 令和2年度 事業報告及び決算状況
- P6 就任・退任のご挨拶
- P8 感謝録・ボランティア掲示板

仁・愛・心 時代とともに 地域とともに

五月晴

養護老人ホーム 向陽苑 崎浦

続 くコロナ禍で、利用者の皆様、ご家族様には大変ご不便をお掛けしております。

そんな中、少しでも施設内で楽しい時間と、人間にとって大事な衣食住の一つ、『食』に力を入れIH調理器を購入いたしました。

不慣れな方もいらっしゃるのですが、IH調理器の操作説明会から始めました。火を使わず加熱料理ができるので、施設の中で安心して利用できます。

これからはこのIH調理器をフル活用して『食』を楽しんでいただければと思います。



やっぱり手作り
おいしいわぁ～



養護老人ホーム 向陽苑 木曳野

重 点事業である『健康長寿を目指す』を目的に「腸活」や「肺活」として、喫茶時に、甘酒を提供したり、スタンプラリー方式でのラジオ体操を行いました。今後も『健康』を意識しながら、施設生活を営んでいただけるような行事等を企画していきます。

また、5月18日から7月8日までの期間に、新型コロナウイルスワクチン接種を希望された利用者の皆様及び職員への接種（2回目）を終えております。



甘酒

ラジオ体操

特別養護老人ホーム 万陽苑

新 企画！“全国甘いもん祭り”を初開催しました。北は北海道から南は九州沖縄まで、全国のスイーツが大集結。かたいものが食べられないご利用者様向けに、食べやすく加工された桜餅やみたらし団子などもお取り寄せしました。外出もままならないこのご時世、各地の名産品で少しでも旅気分を味わっていただけたのではないのでしょうか。

そうそうたる全国の甘いもんを押しのか、人気ナンバーワンは輪島の水ようかん。地元食品の美味しさも再認識し、美味しい笑顔が溢れました。



特別養護老人ホーム 第二万陽苑

こ 家族様との面会にも制限があるコロナ禍。「今日は何をして過ごしているのだろう、元気に楽しく過ごせているだろうか…。」ご家族様にはご不便ご心配をおかけしております。

陽風園ホームページの新着情報では、施設ごとに行事等のご様子をお知らせしております。第二万陽苑では、ご家族様に少しでも安心を届けられたらと思い、苑内での日常のご様子などを通して、なるべく多くのご利用者様の笑顔をお届けできるよう心がけております。素敵な笑顔をぜひご覧ください。



特別養護老人ホーム 第三万陽苑

利 用者の皆様と共に、日々感染症予防に努めています。新しい生活様式の中で、余暇時間の充実や身体機能の維持、気分転換を目的に、距離を保ちながらのラジオ体操を実施しています。

また少人数での体験型行事として、「あじさいの壁紙作り」を行いました。活動を通じて季節の移り変わりを感じて頂けた、笑顔いっぱいのひとときでした。



陽風園地域福祉プラザ

陽 風園デイサービスセンターでは『食べること』や『体操』を通じて腸内環境のバランスを整え、免疫力の向上を推進し、心身機能の維持、健康的な生活が送れるようにさまざまな取り組みを行っています。

陽風園木越デイサービスセンターでは『シアテラス会』の実施により、さまざまな企画、行事を行っています。季節を感じながら開放的な空間の中で、アクティブに楽しい時間を過ごす事ができるように取り組んでいます。



救護施設 三陽ホーム

今 年は桜の開花が早く、3月下旬に園内の桜も満開となりました。

コロナ禍でもあり、少人数、短時間で数回に分け、園敷地内を散策しました。肌寒さは少しあったものの、晴天に恵まれ、皆さんの表情は生き生きとして見え、「外は気持ちがいいわ」という声が聞かれました。また、4月6日、9日には卯辰山や犀川沿い等市内をドライブし、降車しての見学は出来ませんでしたが、車窓から桜並木を觀賞し季節の移り変わりを目にしました。

さて、5月中旬から高齢者施設でのコロナワクチン接種が始まりました。三陽ホームでは、全員ではなく3分の2に当たる65歳以上の62名の方が接種を受けました。残りの方も7月末には接種済となる予定ですが、接種後も100%安心とも言えませんし、気を抜くことなく感染対策を徹底します。



障害者支援施設 **ハビリポート若葉・若竹**

「やめる」より「できる何か」を

安 心・安全性が求められる今日、ハビリポート若葉・若竹では、様々な工夫を凝らし、四季折々のイベント・行事を実施しております。

今回は、長いコロナ禍での気分転換を目的とし開催された「たけのこ祭り」をご紹介します。テーマは「空間」と「食」。ソーシャルディスタンスの課題から、ガーデンテラスを会場化し、山々の絶景が見渡せる開放的なスペースを確保。お焦げが絶妙な筍ご飯を筆頭に、色とりどりの昼食や、お祭り気分を味わえる駄菓子などの模擬店が提供されました。中でも旬の筍を塩バターでソテーした餡がふんだんに詰まった大判焼きは至高の味。食欲が落ちている方もたくさん召し上がっており、今ここでしか体験できない楽しみ方に魅了されている様子でした。

大自然と戯れ、旬の味覚を堪能する！ 当施設ならではの至福のひと時を、来年も乞うご期待。

就労継続支援B型 **あけぼの作業所**

あの人気商品が定番商品として登場！！

焼 菓子の人気商品『チョコバナナパウンドケーキ』が定番商品に仲間入りしました！！バラ売りの他に、予約をしていただければ一本そのままでも購入いただくことが出来ます。バナナペースト入りなのでしっとり食感で美味しく、ファンも多くまとめ買いをする方もいる人気の商品です！！冷蔵庫で冷やしてから食べると違った食感を楽しめます。ぜひご賞味ください。手土産などにもおすすめです。

漬物班は梅干し・らっきょう漬けの仕込みの時期となりました。今年は梅の実がなるのが早かったので、熟すのも早く、軽作業の利用者にも梅のホシ取りを手伝ってもらいながら1週間で180kgの梅の仕込みを行いました。

7月に紫蘇漬けし、干したのちに完成となりますが、完成は、8月下旬予定です。

認定こども園 **みずきこども園**

み ずきこども園の玄関に入ると目に飛び込んでくるのは、エントランスの大きな窓から見える青い空、白い雲、木々の緑、そして子ども達の大好きな園庭です。

ブランコなどの固定遊具はもちろん、泥んこ池に砂場、野菜や朝顔、メダカやカメの飼育など子ども達にとって魅力的な環境が沢山あります。生き物のお世話をしたり、泥んこの泥加減を決めたり、泡遊びからクリーム作りに発展し、お店屋さんになったり、どの場所も子ども達が主体となり、遊びが発展していきます。今年度、園庭には新しくジューンベリーとブルーベリーの木が仲間入りしました。子ども達は、「何の実かな??」とずっと観察し最近、実が付き食べることが出来ることや、実から色が出ることも知りました。そのような身近な遊びの中で子ども達は様々な好奇心から学習体験を行い科学の目を育てています。乳幼児期に大切な体づくりと豊かな経験を子ども達の成長発達に適したカリキュラムの充実のもと、展開していきたいと思っております。



令和2年4月1日から令和3年3月31日までの期間における園の事業実績を、次のとおり報告いたします。

1 福祉サービス向上への取り組み

- (1) 社会福祉事業の目的及び施設における事業計画の基本方針に基づきまして、サービスの利用者が尊厳を守りながら自立した生活を営むことができるよう支援するとともに利用者個々の心身や生活の質及び地域における社会福祉の推進が図れるよう、福祉ニーズに即した適切なサービスの提供に努めました。また、「私たちの信条」のもと、陽風一家が一丸となり事業に取り組むことを旨としました。
- (2) 陽風園では、快適な排泄ケアの充実を実践いたしました。吸収効率が高く、肌に優しい尿取りパッドを使用することで、利用者へのスキントラブルの軽減を図りました。
- (3) 向陽苑崎浦では、健康長寿をテーマに、認知症予防や健康増進、体力アップを目的として、健康いきいきプロジェクトを実施しました。
- (4) 向陽苑木曳野では、利用者本人が望む過ごし方が実現できるようマイライフメモリーノートを作成しました。
- (5) 万陽苑では、小型犬との触れ合いを通して、利用者に笑顔で元気に過ごしていただく活動としてアニマルセラピーを実施しました。
- (6) 第二万陽苑では、居室内のリフォーム工事を行い、利用者の生活環境の向上を図りました。
- (7) 第三万陽苑では、外部配管の改修工事を行い、生活環境の整備を図りました。
- (8) 陽風園デイサービスセンターでは、コンフォータブルとして利用者へ癒しと安らぎの時間や空間を提供し快適に過ごせるよう努めました。
- (9) 三陽ホームでは、アクティビティの向上として音楽や映像等を活用し、身体機能の維持や向上の強化に努めました。
- (10) ハビリポート若葉・若竹では、テラスパークを活用して多種多様なレクリエーション活動を実施し、日中活動の充実を図りました。

(11) あけぼの作業所では、インターネットによる通信販売を本格的に実施し、販路を拡大しました。

(12) みずきこども園では、令和5年度に設置予定の分園整備事業のため、令和3年3月に金沢市より用地を取得しました。

2 在宅福祉サービスへの取り組み

- | | |
|--------------|----------------|
| ア 短期入所サービス | カ 生活援助員派遣事業 |
| イ 通所介護サービス | キ 障害者への地域生活の援助 |
| ウ 訪問介護サービス | ク 指定特定相談事業 |
| エ 在宅者の福祉相談援助 | ケ 子育て支援・世代間交流 |
| オ 居宅介護支援事業 | |

3 地域交流・社会貢献・施設機能の地域開放

- | |
|-------------------|
| ア 町会会合等への会場提供 |
| イ ボランティア・実習生の受け入れ |

4 非常災害対策への取り組み

陽風園の非常災害体制は、本園の防災センター（宿直室及び第一応接室）を中心に万全を期すとともに、非常災害対策統括委員会にて非常災害時の対応を集約しています。

なお、設備については、スプリンクラー設備、消火栓設備、自動火災報知設備、非常通報設備等を整備するとともに、当該設備の保守及び定期点検の徹底を図り、有事に備えました。

また、各施設では毎月1回避難訓練を、園においても春・秋の火災予防運動週間に合わせて総合避難訓練を実施するとともに、地震や暴風雨の発生を想定した災害図上訓練（DIG）や、金沢市より提供を受けたダンボールベッド等を活用した避難所運営訓練（HUG）を実施し、職員、利用者の防災に対する意識の向上を図り、防災体制の一層の強化に努めました。

5 職員の資質向上への取り組み

社会福祉士や介護福祉士、精神保健福祉士等の各種資格取得にむけて必要な援助を行いました。

決算報告（概略）

資金収支計算書

（単位：円）

勘定科目	金額
当期資金収支差額合計	9,391,657
前期末支払資金残高	1,894,027,733
当期末支払資金残高	1,903,419,390

事業活動計算書

（単位：円）

勘定科目	金額
当期活動増減差額	71,441,932
前期繰越活動増減差額	5,715,621,905
当期末繰越活動増減差額	5,787,063,837
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	98,800,000
その他の積立金積立額	279,000,000
次期繰越活動増減差額	5,606,863,837

貸借対照表

（単位：円）

勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	2,091,430,379	流動負債	542,220,330
固定資産	10,661,292,872	固定負債	1,665,501,624
基本財産	9,230,779,826	負債合計	2,207,721,954
土地	1,496,662,278	基本金	1,550,912,684
建物	7,734,117,548	国庫補助金等特別積立金	2,457,080,776
その他の固定資産	1,430,513,046	その他の積立金	930,144,000
		次期繰越活動増減差額	5,606,863,837
		純資産合計	10,545,001,297
資産合計	12,752,723,251	負債及び純資産合計	12,752,723,251

※これらの詳細については、法人HPの情報開示にてご覧になれます。

<https://www.yofuen.com/disclosure/>

理事長就任のご挨拶



「一人は皆のために 皆は一人のために」

理事長 丸 口 邦 雄

6月25日に理事長に就任した丸口邦雄です。150年近い歴史と伝統を有する陽風園は、北陸を代表する福祉の中核拠点であり、受け継いだバトンの重みをひしひしと感じています。微力ですが、皆様方のご協力を得ながら、一生懸命務めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

今回のコロナ禍を通じ、世界や日本の社会における様々な課題が浮き彫りになりました。そして、人間関係の希薄化が懸念される中で、人間にとって本当に大切なものが、お金や物などではなく、互いの絆や思いやりの心で結ばれた「温かい人の縁」であることに、改めて気づかされました。まさに、陽風園の理念である「仁愛の精神」につながるものであり、それこそが、これからの複雑多様化する福祉課題を解決する鍵になるのではないかと思います。

今、私達が直面している課題は、ウイルスから、環境、水、食糧、エネルギー、安全保障に至るまで、地球上に住むすべての人が協力しなければ解決できないものばかりです。そうした中で、皆が幸せになるためには、利己主義から脱却し、人類すべての利益を求めていくことが大切であり、「一人は皆のために、皆は一人のために」という思いを互いに強く持たなくてはなりません。

先ずは、心を合わせてこのコロナ禍を乗り越えとともに、超高齢社会の中にあっても誰もが安心して安全に暮らせるよう、質が高く、心の通う福祉サービスの提供と充実に、職員とともに取り組んでいきたいと考えております。皆様方のご支援・ご協力をお願いします。

退任のご挨拶



「いつまでも応援したくなる陽風園」

前理事長 糸 屋 吉 廣

3年間務めさせていただきました。人材確保に腐心した3年間でした。また、後半の1年6ヶ月は新型コロナウイルスとの我慢比べでした。昨年9月に利用者1名が、変異型ウイルスが増えてきた5月には介護職員1名が感染しましたが、職員の適切な対応でクラスターを発生させることなく6月末に退任することができました。

陽風園の職員は、いつも笑顔でおしゃべり好きで、世話好きのお節介者ですが、ここぞという時はしっかり者に変わりびっくりさせられます。これが日本で最も古くからある民間福祉施設に働く職員の豊かな人間味と確かなスキルだと思います。

私の後任に、前金沢市社会福祉協議会会長で前金沢市副市長の丸口邦雄さんが就いて下さいました。彼は財政畑出身で、彼の持論は確か「シェイプアップによる筋肉質な組織」だったと思っています。

私の持論は「やや肥満気味でも長生きする組織」です。お金の使い道はきっと同じだと思いますが、私は「一に利用者のために、二に職員のために、三に地域のために」を信じて仕事をしてきました。「筋肉質か、やや肥満気味か」彼のバランス感覚に期待しています。

キラキラ光るこども園の子どもたち、やさしく微笑んでくれたおばあちゃん、作業しながらいつも声を掛けてくれた障害のある方々に「日々癒やされ、励まされ、いつまでも応援したくなる陽風園」でした。

思いやりのある職員に囲まれ、関係各位に支えられて今の自分があります。本当にありがとうございました。



三陽ホーム 施設長
多田 正人

この4月から、陽風園の職員となり、三陽ホームの施設長に就任いたしました。それからすでに3か月が過ぎましたが、三陽ホームの皆様方に支えていただきながら、より良い施設づくりに誠心誠意努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

三陽ホームは、生活保護法に規定された救護施設で、身体上又は精神上著しい障害があるために日常生活を営むことが困難な方々が利用する施設です。生活保護法が施行された昭和25年当時と現在を比較すると、高齢者や障害のある方が状況に応じて入居できる様々な福祉施設の充実に

より、救護施設の役割は、時代とともに変化しておりますが、他の福祉施設では受け入れが困難な方々を受け入れるなど、地域や社会におけるセーフティネットとしての役割を果たしていかなければならないと考えています。さらに、昨年からは新型コロナウイルスの影響により、様々な課題を抱え、生活に困窮される方が増加していることもあり、三陽ホームとしても、時代の流れや状況に応じたニーズに添えていかなければなりません。

今後、老朽化を迎える三陽ホームの改築再整備の検討を進めるとともに、より良い救護施設を目指して努力していきたいと思っておりますので皆様方のご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



第三万陽苑 施設長
荒木 雅宏

4月から第三万陽苑の施設長を務めさせていただいております。長い歴史を持つ陽風園が運営する特別養護老人ホームの施設長という大役を仰せつかり、重責を痛感しております。

第三万陽苑は、たけのこの里として名高い内川地区の自然に恵まれた環境で28年目を迎えます。近隣の内川小中学校とは児童の見守り活動やベルマークの寄付、内川公民館とはたけのこまつりや花いっぱい運動などに参加させていただき、先人の方々が築いてきた繋がりを大切に

して更に交流を深め、地域に根差した施設を目指したいと思っております。

近年は福祉施設の急増化や福祉サービスの多様化に伴い、選ばれる施設作りが求められます。利用者の皆様に寄り添い、お一人おひとりの声を大切にすることは当然のことながら、ICTも積極的に導入して有効的に活用し、安全で安心して過ごしていただけるよう考えたいと思います。また、コロナ禍における施設生活の標準が大きく変わってきています。その様な状況下では単調な生活になりがちですが、笑顔のある豊かな暮らしが提供できるように努めて参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



事務局次長
畠中 悦子

4月から事務局次長兼経理課長という重責を任せられ、身が引き締まる思いであります。

経理課には10年ぶりとなり、まだ会計課と呼ばれている時代に勤務しておりました。10年一昔ともいわれますように、この10年の間に建物は新しくなり、事務局各課の業務体制は整備され、事務局は3課から4課になりました。社会福祉法人会計基準は新会計基準に移行し、以前より更に複雑で細かい処理が必要になっていました。経理システムの使用法自体は変わりありませんでしたが、内容が変わっているために戸惑うこと

も多く、四苦八苦しながら、ようやく決算業務が終わり、一安心しております。これも一重に周囲の皆様のおかげであり、皆様には助けられることの連続で本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

事務局では、利用者の皆様と直接関わることは少ないですが、利用者の皆様が安心安全に過ごせるよう、そして、職員の皆様の業務効率化や働きやすい職場環境づくりを目指すなど、事務局の役割を考え、今後も陽風園の運営が健全に保てるよう自分の責務を全うする努力をしてゆく所存です。

どうぞ、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

感謝 録 3月～5月

◆ 寄付物品の部

● 匿名2名

◆ 寄付金の部

● 崎浦地区町会連合会

● 匿名13名

ご厚意ありがとうございました。

◎ 実習・体験

専門学校アリス学園（介護実習Ⅰ）（万陽2名）

専門学校アリス学園（介護実習Ⅰ）（第二2名）

金沢医療センター附属金沢看護学校（在宅看護実習）
（プラザ10名）

金城大学（介護実習Ⅱ）（三陽2名）

金城大学（ソーシャルワーク実習Ⅱ）（三陽1名）

◎ 社会貢献活動

崎浦クリーン作戦（本園）

南小立野小学校ふれ愛リサイクル（本園）

内川スクールサポート隊（第三・ハビリ）

内川リサイクル活動（第三・ハビリ）

volunteer message board ボランティア 掲示板

新型コロナウイルス（COVID-19）の感染リスクを極力最小化するため、ボランティアについては受け入れを中止させていただいております。

今後も国や石川県の方針に基づいて対応していきますので、ご理解の程よろしくお願いたします。なお、陽風園の対応や各施設の対応状況につきましては、別途ホームページ（<https://www.yofuen.com/>）で公表させていただいておりますので、そちらをご確認ください。

